

# 「旧吹屋小学校校舎」平成～令和の大修理！

— 令和4年4月一般公開への道のり ③ —

## 材料を補修・加工しながら校舎再構築へ

解体しながら木材や瓦などを調査すると、そのまま使用できるものや、傷んだり壊れたりしたものが出ます。文化財の歴史的価値をできる限り保存するために、補修で済みそうな木材は、元の材を残し、傷んだ部分だけを取り除いて新材で補いました。取り替えや新しく補った材には修理年号の烙印を押して、将来区別できるようにもしました。一方、どうしても取り替えなければならないものは同様の素材で復元します。石材は同等の石を用意し、瓦は典型的な瓦をもとに新たに制作しました。

また、割石積布基礎の上に置く木製の土台を、石の凹凸に合わせて加工する「光付け」も行いましたが、これはかなり手間がかかりました。こうして、ようやく建物の再構築の準備が整いました。

(次回へ続く)



傷んだ柱の補修



光付け作業



かたと型取りによる土台調整

☎社会教育課 ☎ 21-1516



## 「ジャパレット」発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋— ⑰

日本遺産に認定された『ジャパレット』発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋—のストーリーを構成する文化財を紹介します。

### 「銅栄寺」未指定記念物(遺跡地)

銅栄寺は、吹屋の町並みから旧吹屋小学校へ向かう切通しの右斜面上に位置し、本堂と墓所が所在します。地元の伝承によると、かつては「観音堂」と呼ばれたようですが、明治時代中期頃に吉岡銅山の鉱山長が銅山盛業を祈願し繁栄したことから、「銅栄寺」と称されるようになったとのこと。

令和3年に、戦時中の金属供出を免れた同寺の梵鐘が発見され、鑄造後に陰刻されたと考えられる「吉岡鑛山」の文字と三菱のマークが確認でき、銅山とのつながりを示しています。



銅栄寺



梵鐘

☎高梁市日本遺産推進協議会事務局(日本遺産・歴まち推進室) ☎ 21-0257